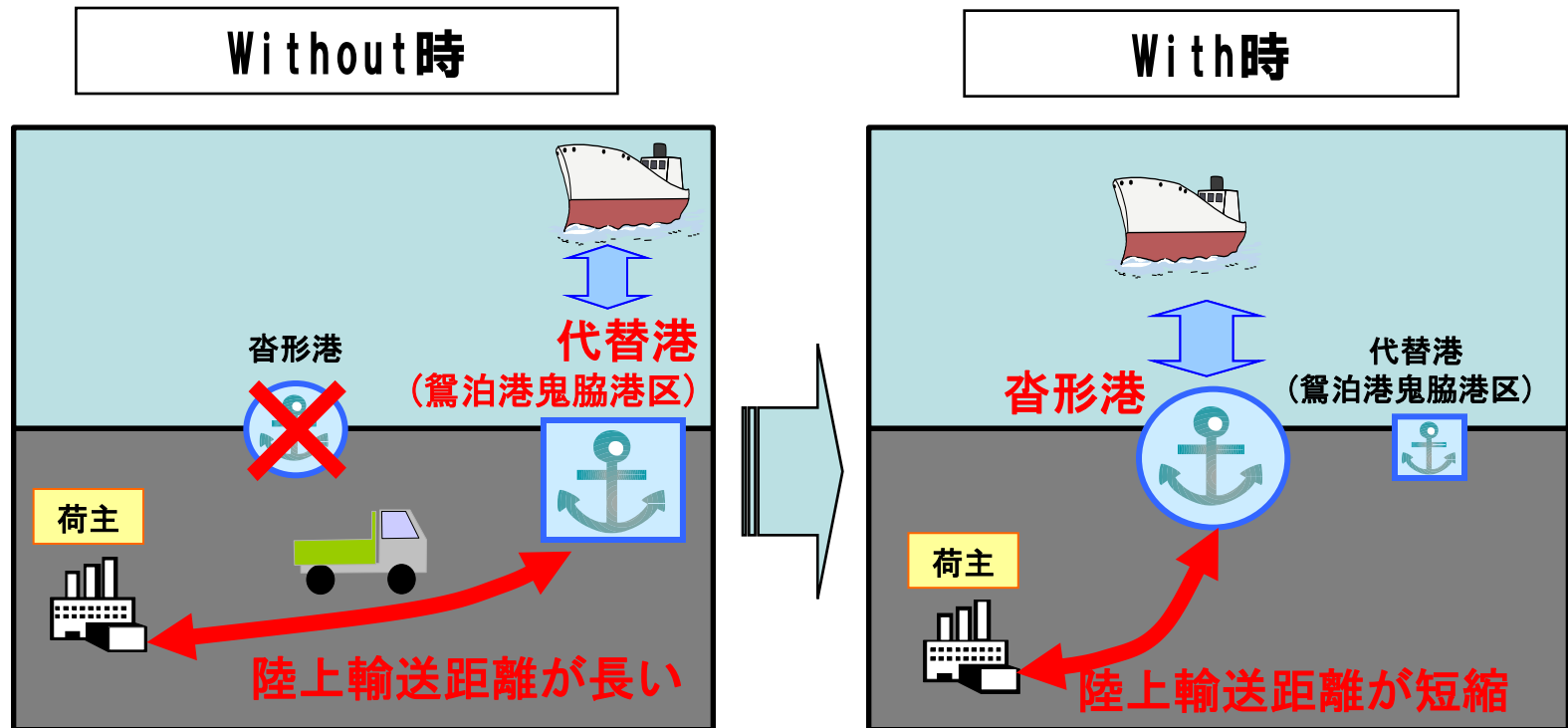


沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

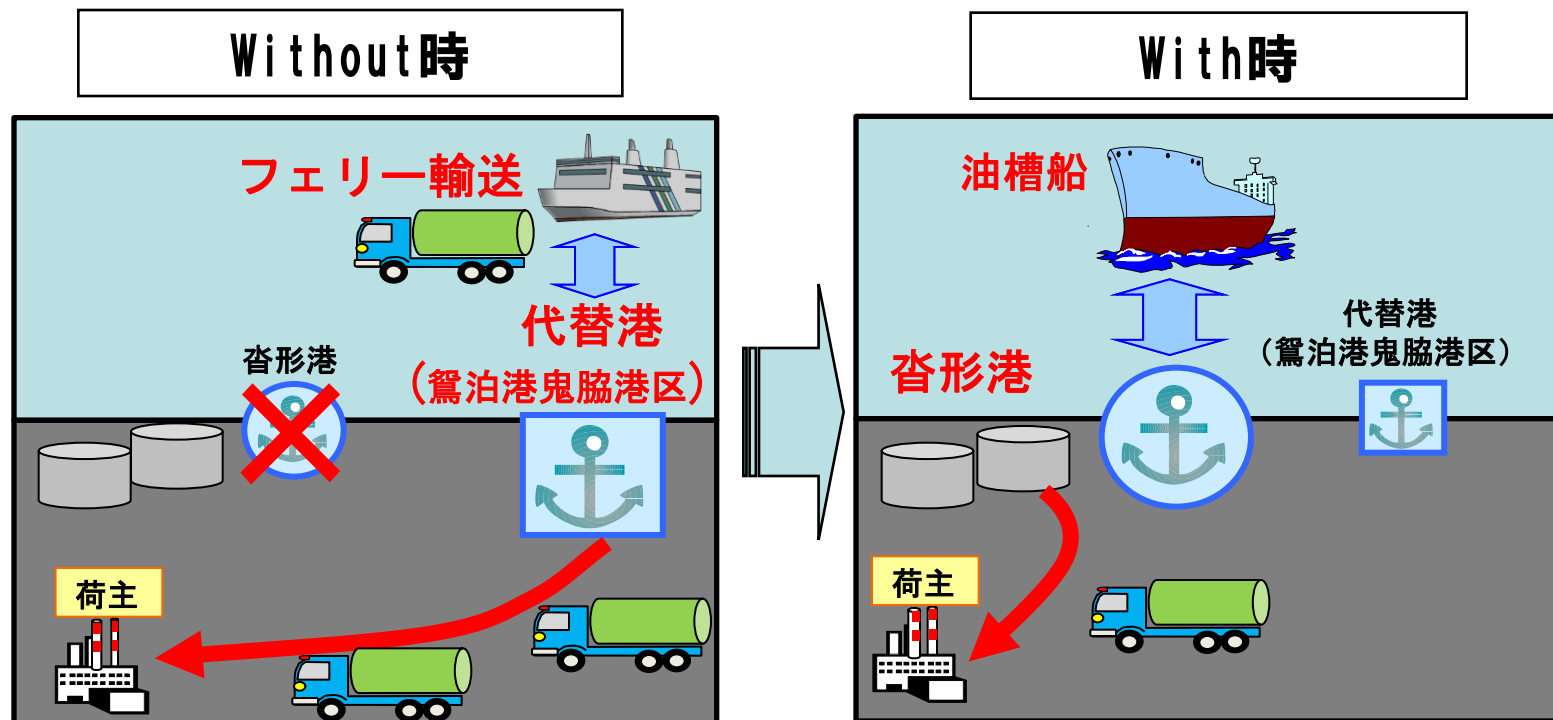
本事業の実施により、引き続き沓形港での貨物の取扱いが可能となることで、石材・砂利の陸上輸送コストの増加が回避される。



陸上輸送コストの削減額 87百万円/年

沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

本事業の実施により、引き続き油槽船による室蘭港及び稚内港から沓形港へ直接の入港が可能となることで、重油の陸上輸送及び海上輸送コストの増加が回避される。

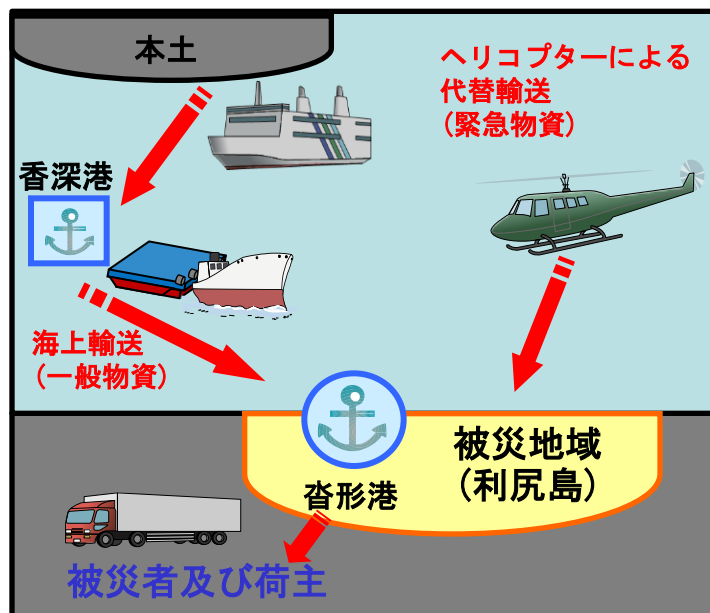


輸送コストの削減額 73百万円/年

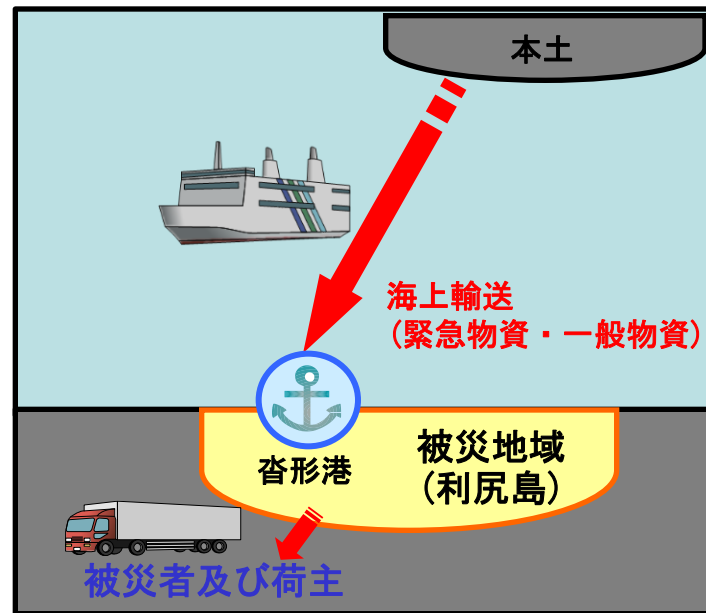
沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

本事業の実施により、新たに大規模地震発生時における緊急物資や最小限の物流機能の確保が可能となることで、輸送コストの削減が図られる。なお、便益の算定においては、整備が行われなかった場合、沓形港の岸壁が被災し、ヘリコプターや本土から香深港を中継した輸送となるため、輸送コストの削減を効果としている。

Without時



With時



震災における輸送コストの削減額 1, 274百万円/震災1回

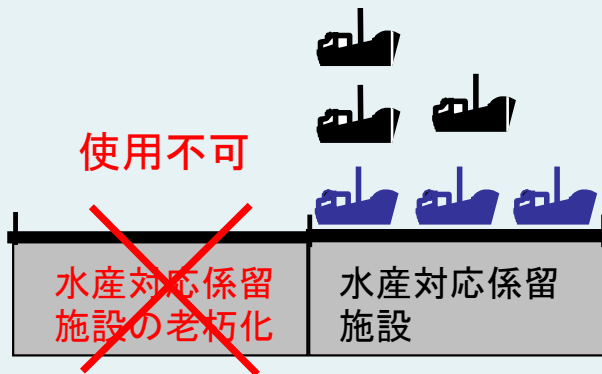
沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

本事業の実施により、係留施設が延命化されることで、小型船の準備・陸揚時の滞船が解消され、時間コストの削減が図られる。

Without時

施設老朽化により準備・陸揚岸壁が不足し、順番待ちの滞船が発生

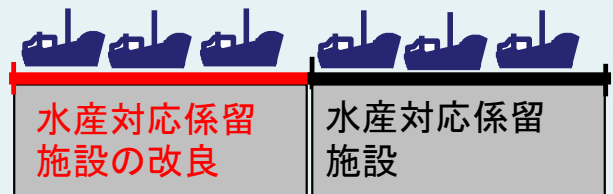
使用不可



With時

物揚場改良により、準備・陸揚時の滞船が改善

滞船改善



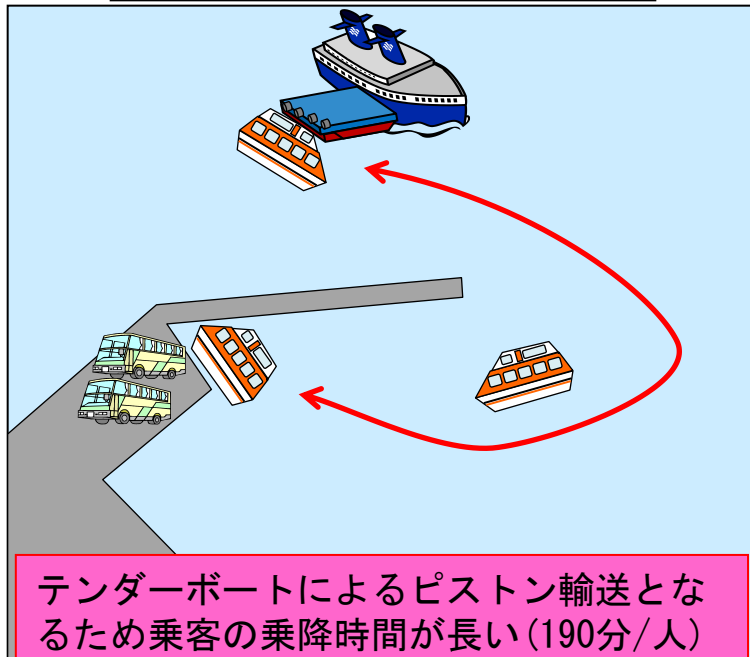
滞船コストの削減額 47百万円/年

沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

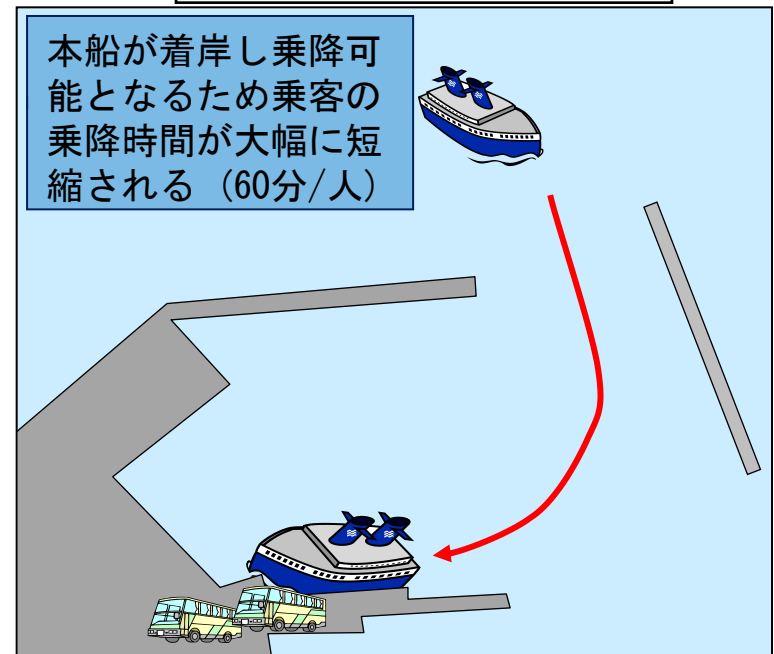
本事業の実施により、新たにクルーズ客船対応の施設が確保され、クルーズ客船の入港・着岸が可能となることで、クルーズ客船乗客の移動時間コストの削減が図られる。

なお、耐震強化岸壁について、H18年度には岸壁延長(60m)整備完了、ドルフィン、係船柱の設置により乗船客の乗降が可能となったことから、対象施設の暫定供用開始に伴い、便益計上期間をH18年～R37年としている。

Without時



With時



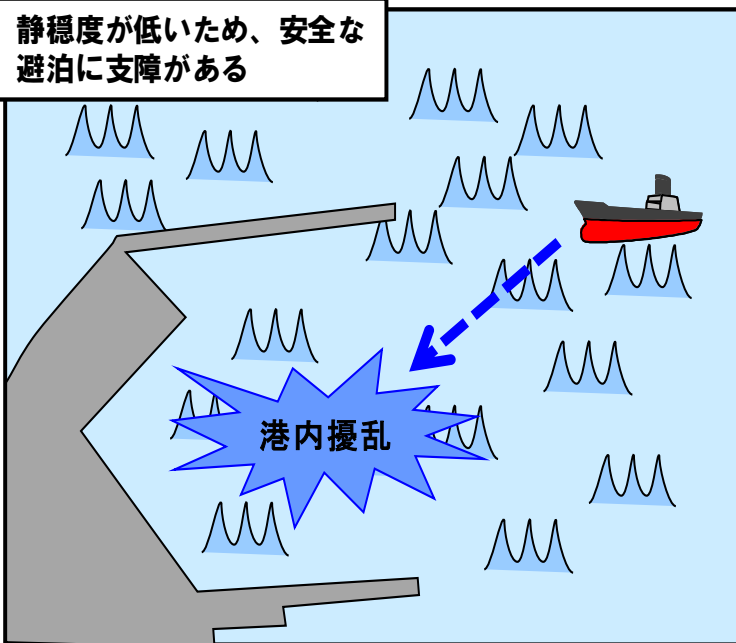
移動コストの削減額 16百万円/年

沓形港 本港地区 国内物流ターミナル整備事業

本事業の実施により、港内の静穏度が向上し、安全な航行や荷役に加えて、荒天時における港内での船舶の避泊が可能となることで、海難事故による損失回避が図られます。

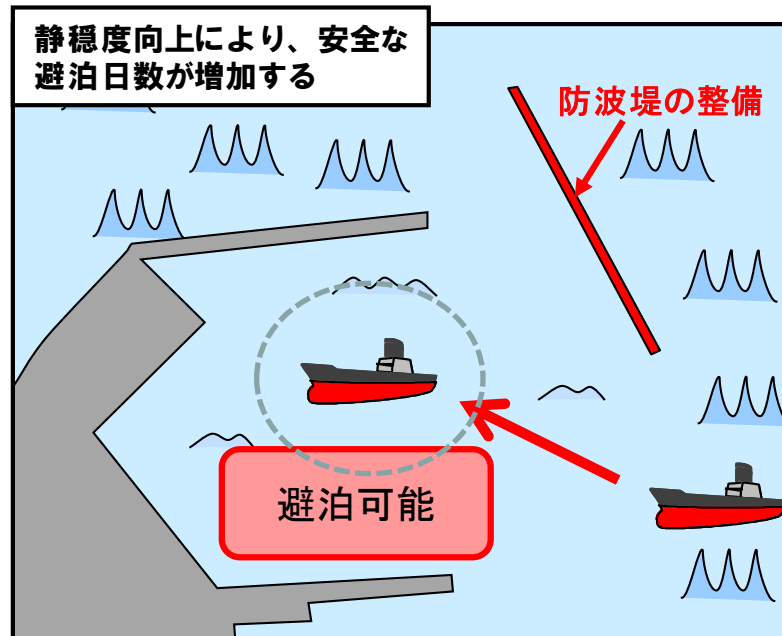
Without時

静穏度が低いため、安全な避泊に支障がある



With時

静穏度向上により、安全な避泊日数が増加する



海難事故損失回避額 1, 824百万円/年